ICT活用工事(ICT土工)の流れ

情報通信技術(ICT)
(information and communication technology)

【別紙3】

国土交通省
中部地方整備局

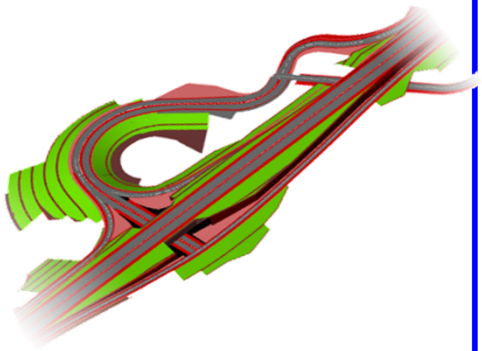
施工プロセス(①～⑤)の各段階においてICTを全面的に活用する

①3次元起工測量

ドローン等による写真測量等により、短時間で面的(高精度)な3次元測量を実施。

9月29日実施

②3次元設計データ作成



施工段階の一連の利用の前提として、施工前に契約図書を3次元化。

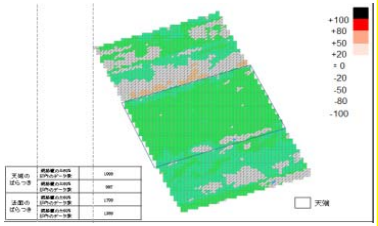
③ICT建機による施工

3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT(※)を実施。

※IoT(Internet of Things)とは、様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。

今回

④3次元出来形管理等の施工管理



多点観測を前提とした面的な施工管理基準の設定

次回

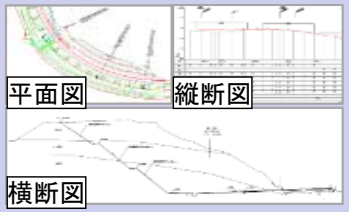
⑤3次元データの納品

電子納品等運用ガイドラインに基づき、3次元データを納品

契約 → 測量 → 設計・施工計画 → 施工 → 検査 → 引き渡し

従来方法

測量の実施



設計図から施工土量を算出

設計図に合わせ丁張り設置

丁張りに合わせて施工

検測と施工を繰り返して整形

書類による検査